

2015年2月4日

株式会社 電通

代表取締役社長執行役員 石井 直

(東証第1部 証券コード: 4324)

オーストラリアのクリエイティブ・エージェンシー「BWM社」の株式51%取得で合意

株式会社電通（本社：東京都港区、代表取締役社長執行役員：石井 直、資本金：746億981万円）の海外本社「電通イージス・ネットワーク」は本日付で、オーストラリアのクリエイティブ・エージェンシー「Belgiovane Williams Mackay Pty Ltd」（本社：シドニー市、以下「BWM社」）の株式51%の取得と、早ければ2019年末にも完全子会社化するオプションを当社グループが有することにつき、同社株主と合意しました。

1996年に設立され、創業者3名の姓の頭文字をとって命名されたBWM社は、現在ではオーストラリアにおける独立系クリエイティブ・エージェンシーとしてトップクラスの規模を誇っており、数多くの広告賞を獲得するなどそのクリエイティブティには定評があり、顧客からも高く評価されています。

BWM社はクリエイティブ領域におけるフルサービスやダイレクト・マーケティングに強みを持つほか、傘下に持つ専門的なサービスを提供する子会社4社との連携により、PR、ソーシャルマーケティング、デジタルコミュニケーション・サービスなども提供しています。

これまで当社グループはアジア太平洋地域において中国と日本に次ぐ第3位の広告市場であるオーストラリアでは、総合広告会社のOddfellows Dentsu（オッドフェローズ電通）とDentsu Australia（電通オーストラリア）、メディアエージェンシーのCarat（カラ：豪州トップクラスのメディアエージェンシー）、Vizeum（ビジウム）、Mitchells（ミッチェルズ）、デジタルエージェンシーのiProspect（アイプロスペクト）、Isobar（アイソバー）、OOH専門エージェンシーのPosterscope（ポスタースコープ）などを通して行ってまいりました。そして現状、同国におけるメディアビジネスでは第2位となるグループへと成長しています。

買収後のBWM社は、社名を「BWM電通」に改名し、同国における当社グループの旗艦クリエイティブ・エージェンシーとしての役割を担うことになり、グループ各社と連携しながら、顧客企業のブランディングや販売促進に貢献する高度でシームレスな広告コミュニケーション・サービスを提供していきます。

なお、本件が当社の2015年3月期の連結業績に与える影響は軽微です。

【BWM社の概要】

- 社名 : Belgiovane Williams Mackay Pty Ltd (BWM社)
本社所在地 : オーストラリア・シドニー市
※メルボルン市にも拠点を持つ
設立 : 1996年4月
株主構成 : 買収手続き完了後
・電通イーグゼクティブ・ネットワーク 51%
・同社経営幹部 49%
売上総利益 : 2,672.5万オーストラリアドル(約25.8億円)(2014年12月期)
主要経営陣 : Paul Williams (CEO)
Rob Belgiovane (エグゼクティブ・クリエイティブ・ディレクター)
Jamie Mackay (エグゼクティブ・プランニング・ディレクター)
従業員数 : 140名
事業内容 : クリエイティブ領域を中心とした広告コミュニケーション・サービス
特筆事項 : 傘下に専門領域の子会社4社を保有
① デジタル領域に特化したエージェンシー「Sputnik」
② ソーシャル領域に特化したPR会社「The POP Agency」
③ 農業関連ビジネスに特化したエージェンシー「Cox Inall Communications」
④ 地域内コミュニケーションに特化したPR会社「Cox Inall Ridgeway」

以上